

<取材のお願い>

2022年10月7日

長岡技術科学大学

JST さくらサイエンスプログラム推進本部

カセサート大学（タイ）の学生がスポーツに関する科学技術イノベーションを体験 ～長岡技術科学大学が誇るスポーツ工学の分野で共同研究連携を目指して～

長岡技術科学大学では10月17日（月）～10月24日（月）、カセサート大学（タイ）から大学生8名、大学院生2名、教員1名、計11名を招き、スポーツ工学・科学を通じた人材育成交流を目的とした研修プログラムを実施します。カセサート大学は卓越した世界水準の研究・教育環境を有している国立総合大学で、招へいするのは工学部に在籍する優秀な学生たちです。

タイでは少子高齢化や小児肥満の問題により、健康への国民意識が高まり、理工系の学生からスポーツ工学・科学を学ぶニーズが高まっています。また、アジア圏全体の傾向として、東京、北京と続いたオリンピック・パラリンピックの開催により、スポーツ競技への興味や好奇心を示す人の割合が増加しています。

スポーツに関係する科学技術イノベーションは、国内の大学や研究機関、民間企業等の絶え間ない努力による技術開発が背景にあり、競技者の身体能力や競技技術の向上だけでなく、競技に使用する用具の機能・性能の飛躍的な向上が記録に大きく寄与します。本学はスポーツ工学・科学分野で近年特に顕著な成果をあげており、その一つとしてあげられるのが、昨年の東京パラリンピックで本学の研究グループが開発した競技用車いすを使用したバドミントン競技での金・銅メダル、テニス競技での銅メダル獲得です。

本プログラムでは、実社会で取り扱われるデジタルデータの利活用に必須となるAI・数理・データサイエンスの知識・技術をスポーツ工学・科学を通じて養います。具体的には、基礎実験として①スプリント計測、②ジャンプ計測、③車いす走行計測に取り組み、その実験データをデータサイエンスの手法によって分析することで個人差や有意差の特徴を客観的に評価します。また、本学と共同研究を実施している長岡市内の企業（ヨネックス株式会社新潟工場、株式会社オーエックスエンジニアリング新潟）にてラケットや車いす等の製造現場を見学するほか、Bリーグに所属する新潟アルビレックスBBのホームアリーナであるアオーレ長岡などの競技施設も訪問し、スポーツ産業やスポーツ文化への理解とその意義を考えます。本プログラムを通じて招へい学生たちに、理工学分野の知識・技術を応用した、ヒューマンダイナミクスやスポーツ用具開発に関するイノベーションの萌芽をもたらすことを目指

します。

本プログラムは科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」*に採択されたものです。プログラム実施後には、スポーツ工学・科学分野での共同研究連携や、スポーツを通じた国際共同開発の実現が期待できます。

つきましてはご多忙中とは存じますが、招へい学生が基礎実験に取り組む様子、訪問先企業での製造現場を見学する様子、長岡市内の競技施設を見学する様子などを取材して頂きたくお願い申し上げます。なお、参加者をはじめ、実施担当の大橋智志准教授へのインタビュー取材もアレンジが可能です。ご希望の方は担当者までご連絡ください。

【実施内容】

- スポーツ工学および生体情報処理に関する講義
- スプリント計測、ジャンプ計測、車いす走行計測実験
- スポーツデータ解析演習
- 長岡市内企業見学
- 長岡市内競技施設見学

【研修日程概要】

- | | | |
|-----------|----|---|
| 10月17日（月） | 午前 | 入国 日本科学未来館見学 |
| | 午後 | 長岡市着 |
| 10月18日（火） | 午前 | オリエンテーション |
| | 午後 | スポーツ工学・生理生体情報研究室の紹介と見学
スポーツ工学および生体情報処理に関する講義 |
| 10月19日（水） | 午前 | スポーツ工学および生体情報処理に関する講義 |
| | 午後 | スプリント計測、ジャンプ計測、車いす走行計測実験 |
| 10月20日（木） | 午前 | ヨネックス株式会社新潟工場長岡見学 |
| | 午後 | 株式会社オーエックス新潟見学 |
| | 午後 | シティホールプラザアオーレ長岡見学（アリーナ見学） |
| 10月21日（金） | 終日 | スプリント計測、ジャンプ計測、車いす走行計測実験 |
| 10月22日（土） | 午前 | 各種実験計測結果のデータ解析に関する講義・演習 |
| | 午後 | 成果発表会、意見交換会 |
| 10月23日（日） | 午前 | 新潟県立歴史博物館、吉乃川酒ミュージアム見学 |
| 10月24日（月） | 午前 | 羽田空港へ移動 |
| | 午後 | 帰国 |

* 「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」

科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。



<https://ssp.jst.go.jp/>

■ 本件に関する取材申し込み・お問い合わせ

先長岡技術科学大学国際連携センター

■ 国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室 （担当：田中(禎)、太田)